



名称の由来

この名称は、「雪若丸」のしっかりした粒感や稲姿(いなすがた)などが男性的であること、際立つ白さとつやのある外観が雪のように美しいことを表しています。

さらに、白さとつやの特長が「つや姫」に似ていることに加え、山形県で「つや姫」の次に生まれたお米であり、「つや姫」の弟をイメージさせるのにふさわしいとして、この名称に決まりました。

山形県は雪国であり、雪は豊かな水源となり、豊かな恵みをもたらします。

米どころ山形が産んだ「雪若丸」が、「つや姫」に続くブランド米を目指します。

ブランドコンセプト

かつて、こんなに美しいお米が、あったらどうか。
おいしいお米は、粒が美しい。
粒が美しいお米が、おいしいごはんになるんだね。

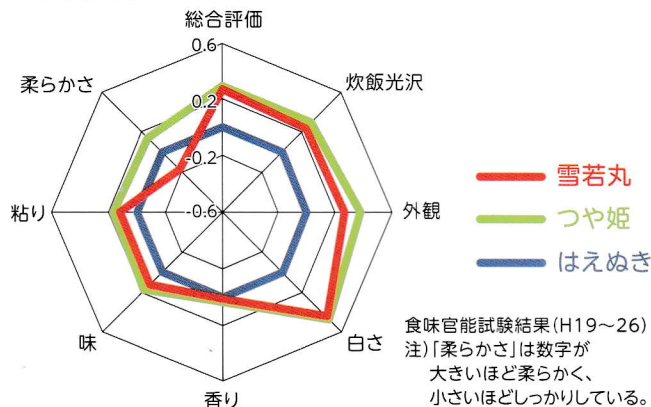
あの「つや姫」に、凛々しい弟君の誕生です。
その名も「雪若丸」。雪のように輝く白い粒。
ひと粒ひと粒の食べ応えは、まさに新食感。
見事な「炊き映え」は、「白いごはん」の極致です。

あっさり上品な味わいは
どんなおかずも引き立てて、
毎日の日常が、ひと味リッチになることでしょう。

食味

- 炊飯米の白さ・外観・光沢・味が優れ、「はえぬき」より食味が優れる。

■食味特性



食感

しっかりとした粒感と適度な粘りが両立した“新食感”

- 県内産品種との比較では、粘りと硬さ(しっかりした粒感)のバランスが、これまでにない新食感。
- 他県産銘柄品種と比較しても同様の傾向。

■県内産品種との比較

[山形県水田農業試験場、平成20年~27年産]

